

テサロニケ教会を通して、福音が伝えられた。他の地域に比べて、テサロニケ地域は迫害が強かった。しかしその中でも、信仰生活を持っている人は、信仰を固く持っていた。しかし、テサロニケ教会の人が再臨を待ち、何もしない人もいたのでパウロが手紙を書いた。パウロは再臨とはどのような前兆があるのかを伝えた。

日本も戦時中は、教会に対する迫害が強かった。教会の牧師たちは、伊勢神宮に行って参拝することを強制された。また、天皇陛下が神であるという全くの嘘を信じさせられた。その時には、牧師たちもキリストの再臨を強く待っていた。聖書の中には、どのように再臨をするのか書いてある。テサロニケ人への手紙の中には、終末論について書かれている。

1.再臨	2.世界宣教	3.伝道者の姿勢
▲キリストが、再臨する時にはどのような出来事が起こるのか 1)不法の者(敵キリスト)ーⅡテサ 2:3-2:4(彼は、すべて神と呼ばれるもの、また礼拝されるものに反抗し、その上に自分を高く上げ、神の宮の中に座を設け、自分こそ神であると宣言します。) ・終末の預言としてエルサレムに神殿(神の宮)が建つ。ー不法の者(敵キリスト)が現れる。 ・敵キリストが現れて「自分を拝むように」言う。 ・ユダヤ人は神殿を建てたかったが条件が揃わなかった。 ・しかし、近年の 100 年ほどの歴史を見ると急展開があった ・ロスチャイルドの家族が、莫大な財産を築くようになる。 ・ロスチャイルドは、イギリスに莫大な金額を貸す条件として、ドイツとの戦いに勝った暁には、イスラエルの国を回復するような条件をつける。 ・イギリスの国が勝利して、1917 年にイスラエルの国に戻るようになった。 ・エルサレムに現在は、イスラム教のモスクが建っているが、聖書の預言の通り、神の宮(神殿)の再建の日が近づいており、ユダヤ人の 1500 万人の内、700 万人がイスラエルに戻ってきた。その内の、800 万人がアメリカなどの国にいるがイスラエルに帰還をするようになる(アーリヤ運動) ・1947 年に神殿建築研究所が建てられ、現在、着々と神殿建築のための準備が進められている。 ・ユダヤ人の夢は、神殿で礼拝を捧げることである。 ・イスラエルの国に神殿が建てられるようになったら、キリストの再臨が近づいている事のサインである。 2)マタイ 24:15-16 ・旧約聖書を引用して、終末の時代のことを述べている。 ・「荒らすべき憎むべき者」が神殿を建てられた時に、自分を拝めと強要してくるようになる。 ・これらが再臨の時のサインである。 3)ダニエル 11:31(荒らす忌むべきものを据える。) ※これらのことは、終末の時代に向けて、ユダヤ人が進める事	▲私達がすることは、世界宣教の働きである。あらゆる国の人々に福音を宣べ伝える。 1)マタイ 24:14(この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。) ・全世界に福音が宣べ伝えられて終わりの日が来る。 2)ローマ 11:25(その奥義とは、イスラエル人の一部がかたくなになったのは異邦人の完成のなる時までであり) ・ユダヤ人のほとんどの人は、キリストを信じない。 ・異邦人が救われる時までユダヤ人の心を頑なにする。 ・救われるべき人数を満たした時にキリストが再臨する ・私達はキリストが使命を与えたように全世界に行って弟子をたてる(マタイ 28:18-20)。 ・そのために、経済も権力も与えて下さる。 ・私達がイギリス、アメリカの伝道・宣教のバトンを受け継ぐように。 3)引き止める方(キリスト)ーⅡテサ 2:7(不法の秘密はすでに働いています。しかし今は引き止める者があって、自分が取り除かれる時まで引き止めているのです。) ・悪魔は自分が栄光を受けたい為に、早く神殿建築をして「不法の者」として出ようとしている。 ・「不法の者」が、早く来ると終末がきてしまう。 ーまだ救われるべき人たちに福音が伝わらないまま終わってしまう。 ・しかし、敵キリストが来ることを引きとめる方が、イエス・キリストである。 ・キリストが、敵キリストを引き止め早く伝道・宣教をするようになることを望んでいる。	▲聖徒たちがどのような姿勢を持たなければいけないのか。 1)Ⅱテサ 2:2-3(主の日がすでに来たかのように言われるのを聞いて、すぐに落ち着きを失ったり、心を騒がせたりしないでください。) ・世でどのようなことがあっても心配をしない。 ・私達は必ず伝道・宣教をしなければいけない。 ・私達の健康も経済も守ってくれる。 ・使命があるから騙されることがないように。 ・私達はいつも、伝道と宣教に関心を持つように。 2)マタイ 28:18(「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。」) ・キリストが全ての権威を持っている。 ・御使いが動員をされて、暗闇を砕く権威がある。 ・天と地の一切の権威を持っている方が共にいる。 ・仕事や勉強を出来る能力を下さる。 3)ヨハネ 15:4-5(わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。) ・福音とはイエス様の物が私の物になること。 ・キリストはぶどうの木で私達は枝である。 ・キリストと繋がると(留まっていれば)実を結ぶ。 ▲結論 1)目的・あらゆる国の人を弟子とする(マタ 28:19-20) ・弟子とする為に人格や権威も必要。 ・弟子、レムナントをたてる働きをする。 2)イザヤ 60:1(起きよ。光を放て) ・キリストの光を放つことにオールインをする。 ・光を放つと呪いと災いが終わるようになる。 ・経済が回復されるようになる(イザヤ 60:5)。 3)最も弱い者も強国となるーイザヤ 60:20-22 ・嘆き悲しむ日が終わる。

現場地教会(2021年12月12日～2021年12月18日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「主の再臨と世界宣教」(Ⅱテサ 2:1-8)

【讚美】 265 聞けや愛のことばを

【祈り】

①教会の祈りの課題

1. 全聖徒が御座の祝福を味わう霊的見張り人となり、福音と祈りでミッションを掴み、日本と237に働く暗闇と霊的戦いができますように。
2. 全聖徒が霊的医者となり、霊的な病で死んでいく日本と237を、御言葉と祈りで癒すことができますように。
3. 全聖徒がキリストの霊的サミット大使となり、日本と237のサミットを原色福音で生かして育て、キリストの福音を伝えることによって、日本をキリスト教国家にできますように。
※御国イザヤ牧師に聖霊充満と5つの力が与えられるように。
②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム・祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

福音宣教教会 祈り題	1. 福音宣教教会(ローマ 16:20、25-27) 2. 主任牧師(使徒 6:4、アモ 3:7、創世記 18:17) 3. レムナント(イザヤ 6:13) 4. 癒し(使徒 19:8-20) 5. 日本神学校、東日本神学校(Ⅱ列 6:8-23) 6. 200 都市(創世記 41:36-38) 7. 1000 大学(使徒 19:9-10) 8. 日本総会教会(使徒 6:4、コロ 4:2-3) 9. 日本 8000 教会(使徒 17:1-3) 10. 本部、柳牧師(138、14、24、25、00、237) 11. 日本をキリスト教国家とする(使徒 18:9-10) 12. 237 宣教、太平洋・インド洋宣教(マタ 24:14、使徒 1:8)
契約の祈り (主日礼拝)	
お知らせ	○主日 14 : 00 に訓練メッセージ ○伝道キャンプに参加しましょう 12月6日から8日 磐田教会 12月13日から15日 大阪・徳島 12月20日から22日 大船渡、奥州 ○クリスマス会-12月25日 14 : 00 ○青少年修練会-12月27日 ○今こそクリスチャンになる時の本が販売されています。
福音宣教教会 主管牧師：御国イザヤ 名古屋市中区栄5丁目 23-8 / tel : 052-238-6003 主日(日曜) 1部礼拝 7:00 / 2部礼拝 10:00 / 3部礼拝 12:00	